

# 【ねがいましては】

第91号

平成9年1月28日

共和珠算学習塾

「Aちゃんへありがとう」

昨年のことですが、もう半年近くになると思います。Aちゃんは突然の病にかかりました。体の左側が自由に動かせなくなりました。入院治療や自宅でのリハビリ、などなど様々な治療を経て、今また元気に教室に通ってきてくれています。Aちゃんはもう私の教室に通って5年が過ぎました。そしてこの5年間全く変化なく、私の前に見せてきてくれたもの、「笑顔」です。心の底からの笑顔を私に、そしてまわりの仲間たち、学校の先生、そしてきょうだいやご両親、親戚の方々へふりまいてきたことと思います。

人はワンパターンな生活が続くと知らずのうちにこころの視野が一点にしばられてしまっていて、了見の狭い考えばかりになってしまい、ストレスはたまる一方というわけで、あまりよいことはないようです。子どもたちとて同じことだと思います。毎日が学校と自宅の往復だけ、会う人もごくごく限られた人だけ、ワンパターンな反応ばかり、そしてつついこころのもののさしが高いところへと昇っていき、他人との競争ばかりになりゆううつな気持ちになってしまう。こんな気持ちで毎日学校へ通っている子は多いはずですよ。

先日、某TV局でパラリンピック（障害をかかえた方々のオリンピック、アトランタ五輪の阿戸行われました）の特集をしていました。体に心に障害をかかえた人たちが精一杯競技している様子に、私は「ハッ」とさせられました。あの彼らの笑顔はどこからやってくるのだろう。健康な人たちよりも、もっともっと上質な笑顔を浮かべる彼らに思わず手をたたいていました。

相田みつをさんの詩にもありますように、「今が大事」なのです。今を大切にしながら生きてみよう。勝っても負けても「ありがとう」の言葉、今を精一杯に咲き乱れる草花たち、そこへ追いつくことができない自分があることに気がつくと同時に、「ありがとう」の言葉もあわせていただきました。

Aちゃんはこれからもコツコツとリハビリを重ねながらきつと元通りの左手、左足が戻ってくるでしょう。きっとAちゃんの持って生まれた笑顔がそうさせるのかもしれませんが。笑顔って人のためにも、自分のためにも役立つんだね。そして大きくなったら「座ぶとんのような人」になってね！

そしてその妹をしっかり支えたおねえちゃん、立派に先生に向かって報告してくれましたね。思いやりを感じました。

Aちゃん、おねえちゃん、ありがとうね。人のために、世の中のために、精一杯の笑顔を咲かせ続けてください。

（＊この記事を書いてから約20年近くが過ぎたころです。）

追記・・・その後、Aちゃんは、長崎のハウステンボスで働いているとの情報をたまたまスーパーマーケットでお会いしたお母さまから伺いました。

しかし、またその数年後、風の知らせが届きました。

そのお母さまが突然死されたとのことですよ。

人生っていつ何が起こるかわかりません。

一日一日はとても貴重なものです。精一杯の生活をおくりましょう。